

## 21) 第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

目的：快適で便利な賑わいのあるまちに住むことができるようにする

指標：快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合

### 目的

首都圏の近郊都市として発展してきた本市にとっては、都市基盤の強化や商工業の維持発展により快適性や利便性を向上させることや地域の独自性を高め、観光や就労・就学の交流人口を増やすことが重要であると考えます。

### 指標

都市機能の強化は、快適性や利便性の向上となり、産業の振興と雇用の確保、観光資源の活用や商圏の拡大等による交流人口の増加は賑わいをもたらすものです。そこで、都市機能の強化により快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合を増加させることを目指します。

### 設問

この指標は、「快適・便利・賑わいの4項目の満足度」を組み合わせ聞いている。「地域・態度(評価)」

「まちの賑わいや買い物の便」「通勤、通学などの交通の便」「道路、公園、下水道などの都市施設」「特色ある祭りや地域ぐるみのイベント」の4項目

あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてそれぞれどの程度満足していますか。(1つに)

- |            |              |         |
|------------|--------------|---------|
| 1 十分満足している | 2 まあまあ満足している | 3 普通である |
| 4 やや不満である  | 5 きわめて不満である  | 6 わからない |

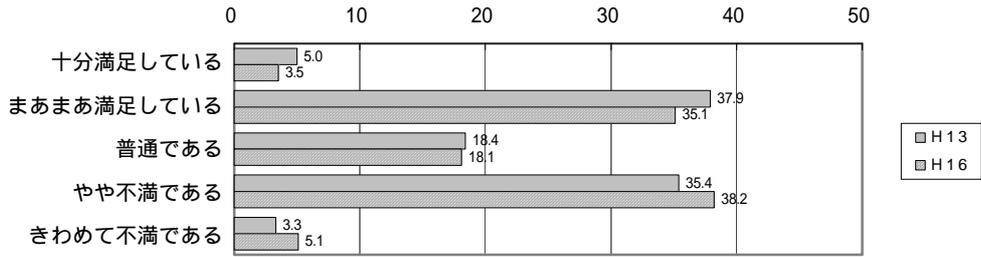
### 指標の現状(値)

カテゴリー	H13年度	H16年度	H19年度(目標値)
十分満足している	3.3%	3.5%	
まあまあ満足している	35.4%	35.1%	
計	38.7%	38.6%	45.0%

### 指標の分析

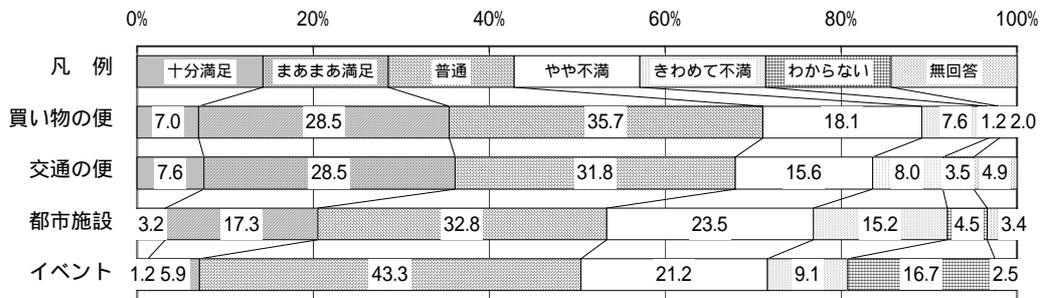
快適・便利・賑わいの満足度は横ばい、多様化・高度化する住民ニーズへの対応も課題

日ごろ生活する中で、快適・便利・賑わいについて満足している人の割合は、前回から横ばいで推移しており、平成19年度目標に近づいたとは言えない状況となっている。生活の利便性や都市としての活力に関する指標については、住民ニーズの多様化・高度化を背景として、満足度の向上とはなっていない様子がうかがえる。

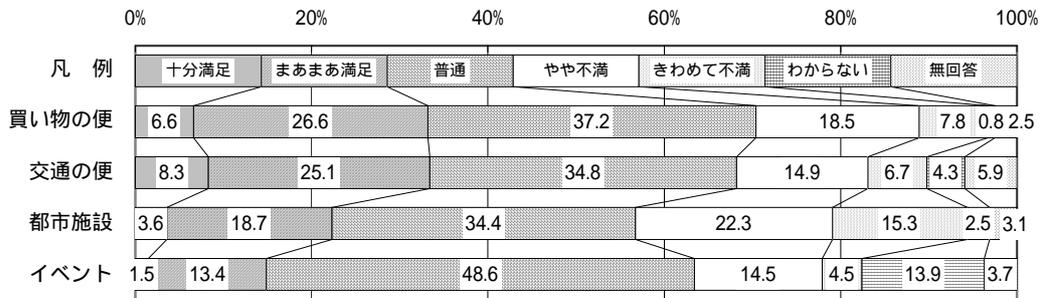


「快適・便利・賑わいの4項目の満足度」に関する各項目ごとに見ると、満足度の比較的高いものとして「交通の便」「買い物の便」があげられ、反対に不満の大きいものは「都市施設」があがっている。また、前回との比較では、総じて不満の割合が減り、普通の割合が増えている。

H13



H16



目的：いつでも安心して水が使えるようにする  
 指標：(水道水に)満足している人の割合

目的

市民は健康に係る水の安全性について関心が高く、水道は生活を支える基本的要素であり、安全な水をいつでも使えるようにしておくことが重要と考えます。

指標

水道の質・量・料金は、利用者にとって基本的な要件となっています。これらに満足している人の割合が増えることを目指します。

設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いている。「地域・態度(評価)」

あなたが松戸市で生活する中で、水道水のおいしさ、安さについてどの程度満足していますか。

- 1 十分満足している      2 まあまあ満足している      3 普通である
- 4 やや不満である      5 きわめて不満である      6 わからない

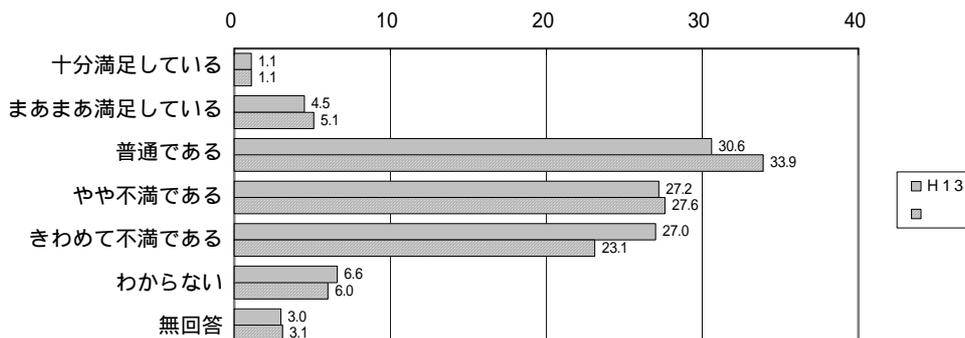
指標の現状(値)

カテゴリー	H13年度	H16年度	H19年度(目標値)
十分満足している	1.1%	1.1%	
まあまあ満足している	4.5%	5.1%	
計	5.6%	6.2%	

指標の分析

水道水に満足する人はわずかに増加、全体では不満を感じる人が多い

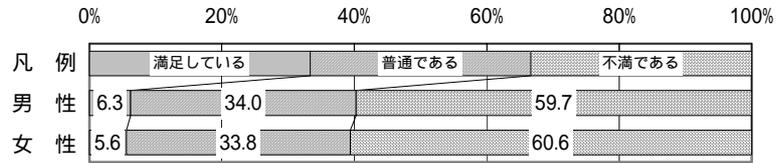
水道水に対し満足している人の割合は、前回に比べわずかに向上する結果となった。全体では不満方向での回答が多いものの、「きわめて不満」が減少、「普通」が増加したことなどが目立っており、総じて評価が向上する傾向にあるとも読み取れる。



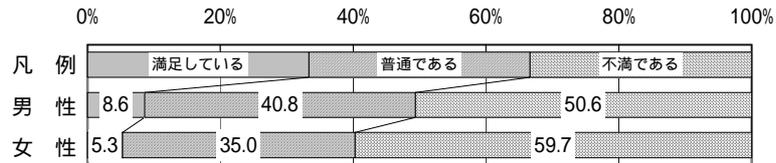
次に、性別で見ると、男性の方がやや満足度が高く、女性の不満が大きいという傾向が見られる。

【水道水×性別】

H13



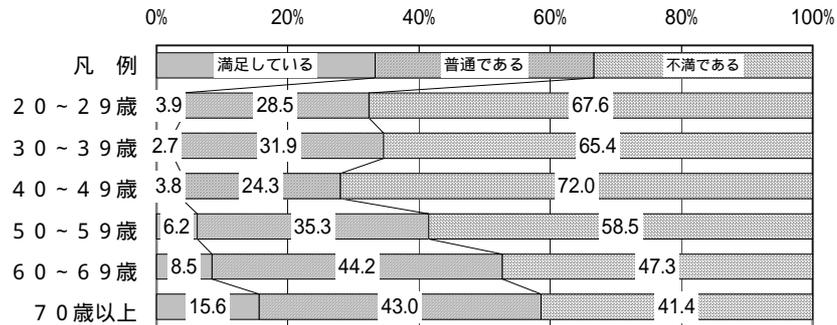
H16



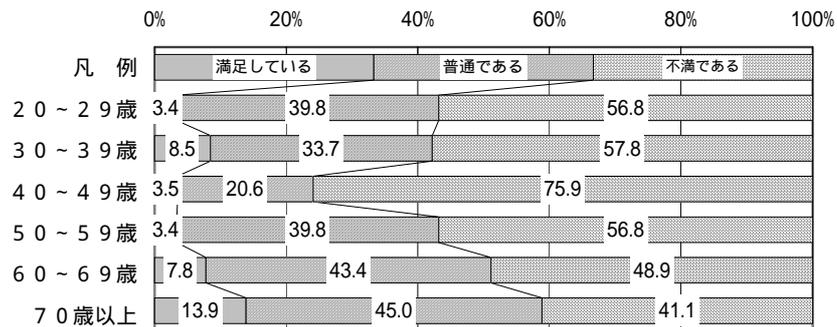
また、年齢別で見ると、おおむね年齢が上がるにつれ満足度が高まる傾向にあるが、40歳代において不満が大きいのも特徴となっている。

【水道水×年齢】

H13



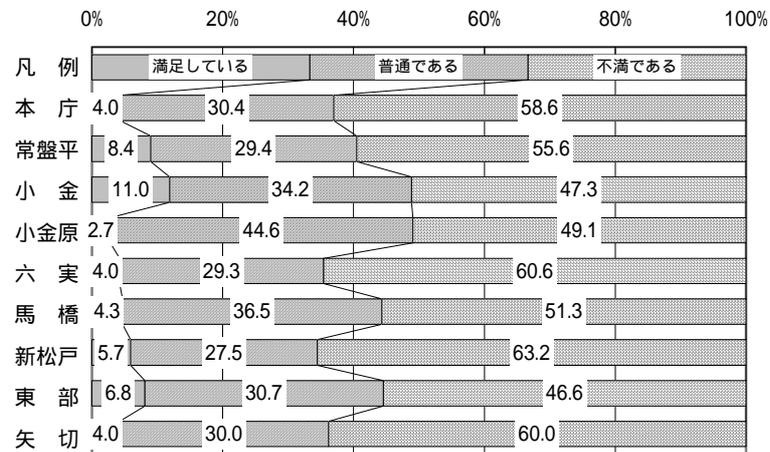
H16



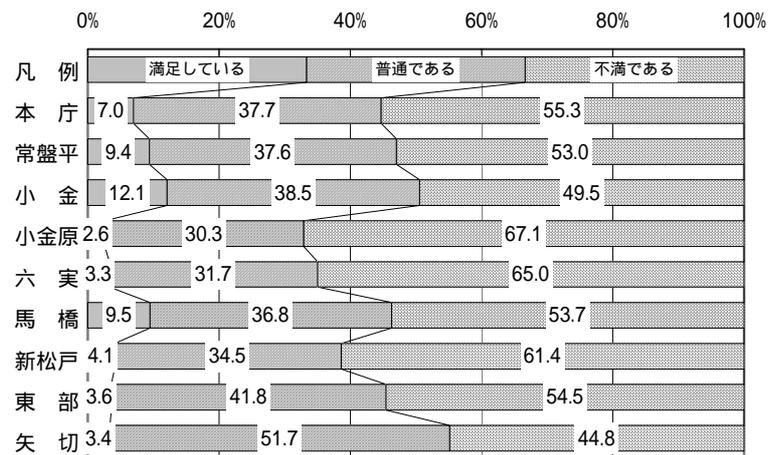
さらに、地区別に見ると、「満足」が多い比較的多い地区として、小金、常盤平、馬橋などがあげられ、「不満」が多い地区としては小金原、六実、新松戸などとなっている。

【水道水×地区】

H13



H16



23) 第6節 都市経営の視点に立った行財政運営 第5項 庁舎および庁舎機能の整備充実

目的：市役所・支所の利便性を向上させる  
 指標：市役所・支所を不便と感じている人の割合

目的

市役所や支所は市民サービスの基点であり、その利便性を向上させることが市民サービスの向上に直接影響を与えると考えられます。

指標

市役所や支所といった市民に身近な施設のハード面における利便性や不便性を調査することで、庁舎機能のうち今後整備すべき優先順位を検証できると思われれます。また、市役所や支所といった公的な場所が全てバリアフリーになっていることは市民の役にたつ人のいる場所としては大事なことと思われれます。

設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いている。「個人・意向」

あなたは市役所への問合せや、窓口の受付、サービスの利用などの際、市役所や支所などが身近で便利だと感じていますか。(1つに )

- 1 大変便利だと感じている
- 2 かなり便利だと感じている
- 3 ある程度便利だと感じている
- 4 あまり便利だと感じていない
- 5 ほとんど便利だと感じていない

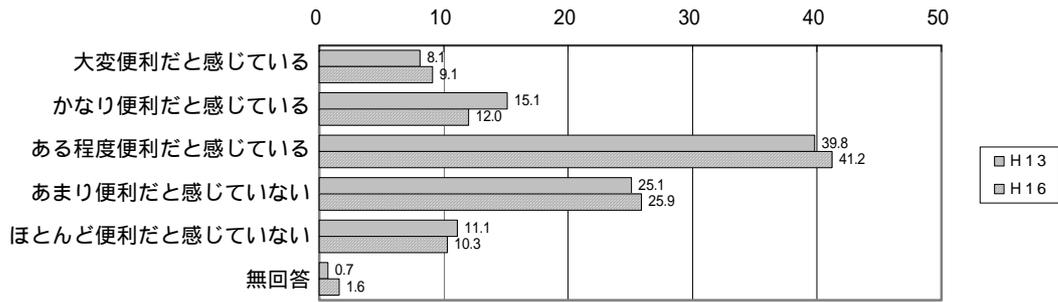
指標の現状(値)

カテゴリー	H13年度	H16年度	H19年度(目標値)
あまり便利だと感じていない	25.1%	25.9%	
ほとんど便利だと感じていない	11.1%	10.3%	
計	36.2%	36.2%	32.0%

指標の分析

安心やゆとりに関する満足度はほぼ横ばい、安心感や安全性を求める地域ニーズ

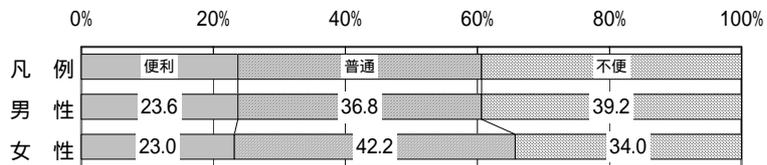
市役所・支所を便利だと感じていない人の割合は、前回から横ばいで推移しており、平成19年度目標に向けて減少はしていない状況である。「ある程度便利」を含めれば、全体では何らかの利便性を感じている人の割合が高く、今後より高めていく方向性が求められる。一方で、市役所・役所を利用する頻度等によっても評価が左右される部分もあり、めったに利用することのない人にとっては、そもそも便利・不便を実感するに至っていない場合も考えられる。



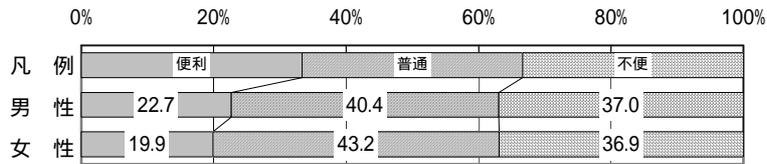
次に、性別で見ると、便利と感じる人は男性の方がやや多く、不便（便利と感じていない）人は男女の違いはほとんど見られない。

【市役所の利便性×性別】

H13

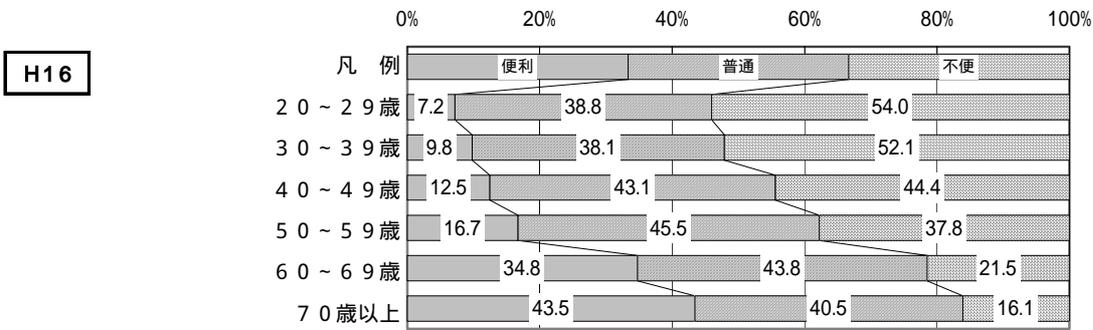
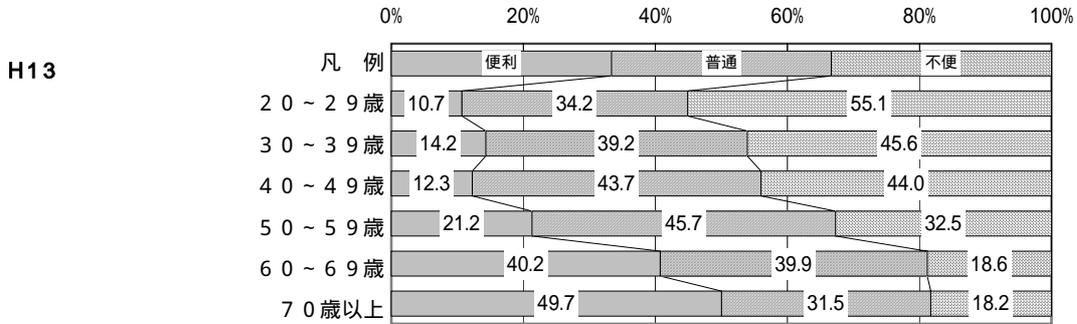


H16



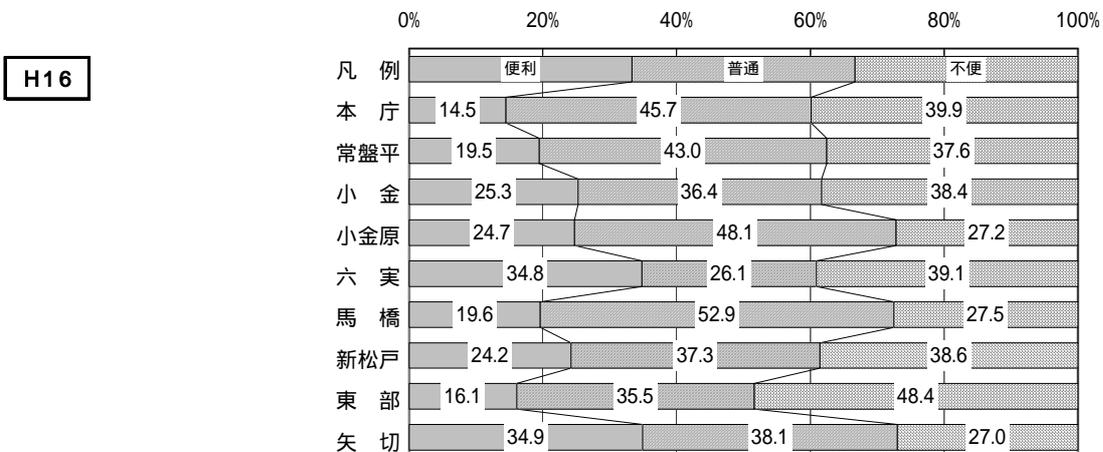
また、年齢別に見ると、年齢層が上がるにつれて便利だと思う人が増加し、不便だと思う人が減少する傾向が、前回と同様見られる。

【市役所の利便性×年齢】



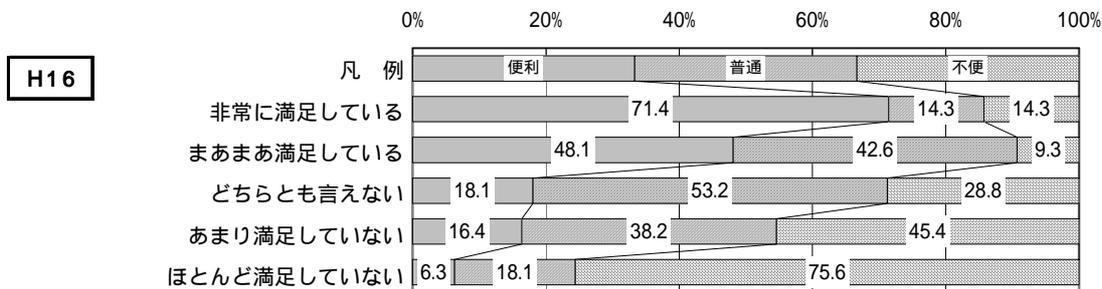
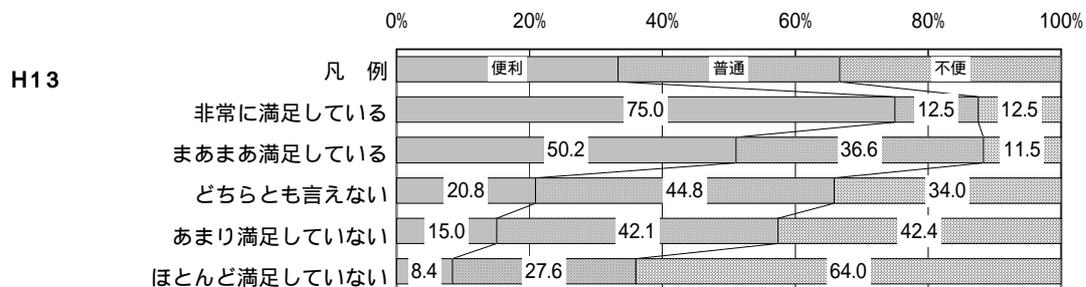
地区別でみると、「便利」が多い地区として、六実、矢切地区、「普通」が多い地区としては、馬橋、小金原、本庁、「不便」が多いのは、東部、本庁、六実地区となっている。

【市役所の利便性×地区】



さらに、行政サービスとの関係を見ると、行政サービスに満足している人は、市役所・支所の利便性にも満足する傾向が見られ、行政サービスに対する満足度と、市役所の利便性は、前回と同様、比例するものであることがわかる。

【市役所の利便性×行政サービス】



注) 複数の設問を組み合わせた指標の算出方法について

複数の設問項目を組み合わせ、設定した指標(値)については、次のような方法にもとづき算出しています。

指標 10) 「文化・教育に魅力を感じて、いつまでもすみ続けたいと思う人の割合」

- ・ Q17 エ、オ、カ、セの4つの質問の回答に表1の評価点をそれぞれ与える。
- ・ 4つの質問の評価点の合計を表2にしたがい分布をとる。
- ・ 表2の分布の 〇〇、かつ Q18(定住意向)の選択肢 〇〇 に該当する割合を指標値とした。

指標 17) 「安心やゆとりを感じている人の割合」

- ・ Q17 ア、ケ、コ、サ、シ、スの6つの質問の回答に表1の評価点をそれぞれ与える。
- ・ 6つの質問の評価点の合計を表3にしたがい分布をとる。
- ・ 表3の分布の 〇〇 に該当する割合を指標値とした。

指標 21) 「快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合」

- ・ Q17 イ、ウ、キ、ソの4つの質問の回答に表1の評価点をそれぞれ与える。
- ・ 4つの質問の評価点の合計を表2にしたがい分布をとる。
- ・ 表2の分布の 〇〇 に該当する割合を指標値とした。

表1

「非常に満足」	+2
「まあまあ満足」	+1
「ふつう」	0
「やや不満」	-1
「不満」	-2

表2

5点以上
1~4点
0点
-1~-4点
-5点以下

表3

7点以上
1~6点
0点
-1~-6点
-7点以下